

卒業時アンケート（学部対象）

対象 : 学部卒業論文提出者
 実施期間 : 2025 年 1 月 6 日（月）～1 月 14 日（火）
 実施方法 : 教務係へ卒業論文を提出しに来た者にアンケート用紙を配布し、すぐ側に設置した回収箱へ投函してもらおう。回収箱は評価・広報室前にも設置した。卒業論文の郵送提出を希望した者には、卒業論文と一緒にアンケートも郵送で提出してもらおう。
 ※アンケートとともに卒業論文を提出するというかたちをとったため、卒業論文提出日にほぼ回収することができた。

論文提出者 : 166 名
 回答者数 : 162 名
 回答率 : 97.6% ※2023 年度 95.2%

結果まとめ 質問ごとに(全体) (実数)

【専修】 所属する専修は次のどれですか？

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T		
哲学・思想文化学	倫理学	中国哲学	インド哲学	日本史学	東洋史学	西洋史学	考古学	日本学	人文地理学	日本語学	日本文学・国語学	比較文学	中国文学	英米文学・英語学	ドイツ文学	フランス文学	美学・文芸学	音楽学・演劇学	美術史学	専修不明・白紙	1
6	7	1	1	15	3	15	9	14	7	14	19	3	0	6	3	3	14	12	8	2	162
15			42				35			22			12			34					
哲学ブロック			歴史学ブロック				日本学ブロック			東洋文学ブロック			西洋文学ブロック			芸術ブロック					

質問 1 あなたが所属する専修において開講されている講義や演習の数や種類は十分でしたか？

A	B	C	D	E
非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない
99	52	9	0	1

質問 2 あなたが所属する専修において開講されている講義・演習・実習等のバランスは適切だと思いますか？

A	B	C	D	E
強くそう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	どちらとも言えない
91	58	8	2	2

質問3 あなたが所属する専修において開講されている授業の内容は、全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	110	41	5	3	2				

質問4 大阪大学文学部の教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	56	66	31	4	4				

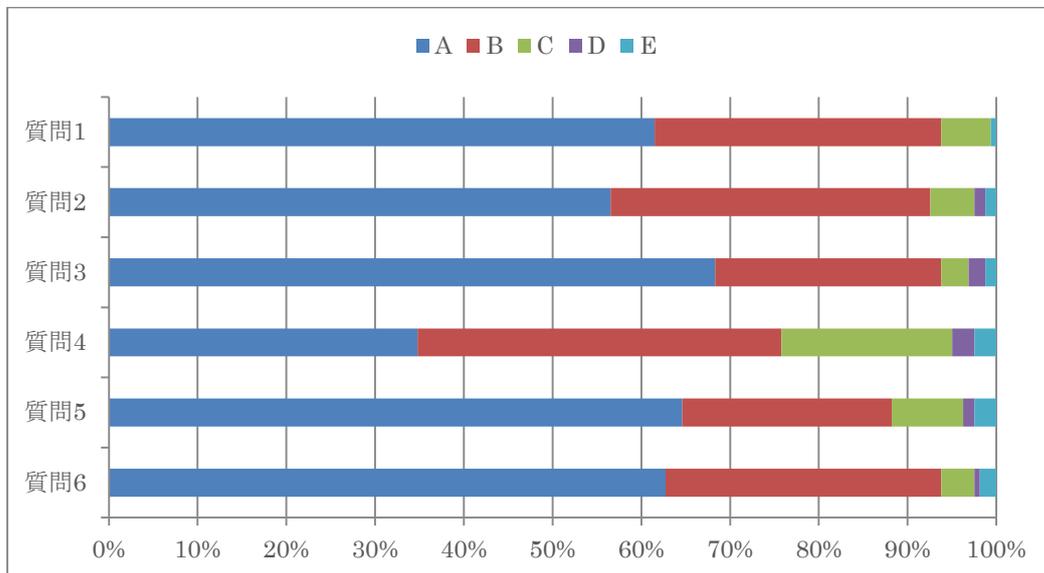
質問5 卒業論文の作成や日常の勉学について、教員から十分な指導を受けることができましたか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
	104	38	13	2	4				

質問6 大阪大学文学部での勉学は全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	101	50	6	1	3				

各質問の回答選択肢の割合



質問7 大阪大学文学部での教育全般について、より良くするための意見や要望があれば、自由に書いてください。

【設備・教室について】
教室に人が入りきらないという状況をなくしてほしい。
受講者全員が入れる教室が欲しかったです。
文法経講義棟の部屋数、席数の少なさと4階のネット環境の悪さが気になりました。
芸術棟のWi-Fiを強くしてほしいです。(回答数2)
コンセント増やしてほしい。
【授業・単位について】
学びたかったことを存分に学ぶことができました。ありがとうございました。
日文の講義が秋冬しかなくて春夏は演習をとるしかないのが不満でした。
指導教員が定年以外の理由で退職されたとき、継続して指導を受けられる体制があればいいと思います。
英記のe-learningが効果的でなく、不要と考えます。
【卒論について】
卒論作成において、もう少し指導教員から指導を受ける機会を用意してほしい。
論文指導の授業がもっとあると嬉しい。
卒論演習はどの専修にも設けるべき。
卒論の提出は2月ごろかせめて1月後半に。
【図書館について】
卒業論文執筆直前は図書館を開けて欲しかったです。
日曜日にも図書館が開いているとありがたいです。
【その他】
とても良い大学だと思います。
楽しかったです。
お世話になりました。阪大で勉強ができて本当に良かったです。

自由記述欄についてのご回答

教室の面積、インターネット環境等についてご意見をいただきました。予算上の制約があり、一度に解決できるわけではありませんが、今後ともより充実した教育環境の整備に努めてまいります。人事異動に伴う卒業論文の指導等における継続性については、各専修の教員各位も後任人事等において留意されていることと思われまます。卒業論文の指導のあり方について、教員から学生への働きかけ・介入の程度・頻度は、学生の研究のオリジナリティーを守るためにもより慎重な検討を要するところです。学生からも教員に質問しに出向くなど、学生による積極的な取り組みもお願いいたします。卒業論文提出締切日時は、その後の口頭試問や成績評価等のスケジュール上、現状の年始が限界であり、ご理解をお願いいたします。また、その関係で、年末年始の卒業論文執筆のための図書館開館も難しいと思われ、この点、あわせてご理解をお願いするとともに、卒業研究の計画的な遂行もお願いいたします。